

令和5年度 学校評価 青垣中学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の 目標・方針	【学校教育目標】『 ふるさと青垣を愛し 自ら学び たくましく生きる 児童生徒の育成 』 ～自ら学び 自ら鍛える 地域に誇れる 青中生～ ①生徒の自立に向けた確かな学力の育成 ②安心・安全な学校づくりの推進 ③地域とともにある学校づくりの推進 ④教職員が健康で生徒に向き合う環境づくりの推進
本年度の重点目標	【自立に向けた確かな学力の育成】 ・組織的な推進体制の構築 ・授業改善（授業のデザイン） ・望ましい学習集団の形成（言語活動の充実） ・学習習慣の定着 ・特別な支援が必要な生徒への学びの保障 【安心・安全な学校づくり】 ・新たな課題に対応した人権教育の推進 ・生徒を支援する意識の徹底（集団指導と個人支援） ・教職員が健康で生徒に向き合う環境づくりの推進 【地域とともにある学校づくり】 ・小中高連携（小中一貫校、連携型中高一貫教育）・信頼される学校づくりの推進（相談体制や情報発信の充実） ・地域とのつながりの深化（トライやる・ウィーク、アソビ・レナシップ教育、ボランティア活動、コミュニティー・スクール等）

2 自己評価（達成状況） A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営	家庭・地域連携	A	①学校行事の実施などにより、保護者が来校される機会を増やすとともに、相談体制や情報発信の充実を図る。 【保護者アンケートより】 「学校行事は適切であった」 R4：93%→R5：98% 「気軽に相談できる」 R4：82%→R5：84% 「学校は保護者からの連絡や相談に適切に対応している」 R4：88%→R5：88% 「生徒をよく理解し、適切な指導を行っている」 R4：82%→R5：84% ※コロナが5月に2類から5類になり来校される機会が以前より増えるなか、今後も家庭連携を進めていきたい。 ②地域人材の活用や積極的にボランティア活動に参加することなどにより、地域とのつながりを深化させ、ふるさと青垣の魅力を感じるとともに、自尊感情や自己有用感を高める。 ・地域に学ぶトライやる・ウィーク ・いずみ会による家庭科への調理実習 ・その他（俳句教室、手話教室、料理教室、地域行事などでのボランティア活動など） 【生徒アンケートより】 「自分にはよいところがある」 R4:82%→R5:82% ※地域の中や地域の方といきいきと地域行事等で活動する生徒の姿を多く見ることができた。今後も地域の方の協力や支援を得て、生徒の自主的・主体的な活動の支援をしていきたい。
		小・中・高連携		③小中及び中高の連携活動など異年齢とのつながりを深めることなどにより、好ましい人間関係を築き、環境の違いによる進学時のギャップをなくす。 ・6年生の中学校授業体験と校舎見学や入学説明会を実施。 ・中高吹奏楽部合同演奏実施（地域行事・文化祭での演奏） ・中高オープンスクールや体育大会・文化祭への参加（生徒がボランティア参加） ※小中高の教科連携が今年も進まなかったが今後は担当者により小中高連携にかかわる年間計画を明確にし、学習面での連携を進めていきたい。
	生徒指導	生徒の力による学校づくり	B	①生徒の主体的・自治的な学級や生徒会づくりを進め、すべての生徒が活躍できる場面を実現することにより自尊感情や自己有用感を向上させ、将来に夢や希望をもてる生徒の育成を目指す。 【生徒アンケートより】 「学校に行くのは楽しい」 R4：83%→R5:78% 「学校行事はクラスの団結や自分の力を発揮できる場になっている」 R4：95%→R5:93% 「部活動は楽しく意欲をもって参加している」 R4：95%→R5:93% 「先生には、よいことや努力したとき正しく評価してもらえる」 R4：97%→R5:95% 「気持ちのよいあいさつが自分からできている」 R4：96%→R5:90% 「将来の夢や希望を持っている」 R4：72%→R5:70% 「生徒会活動に積極的に取り組んでいる」 R4：89%→R5:94% 「自分はクラスの役に立っている」 R4：67%→R5:70%（R3:67%） ※アンケートの結果が低下している項目が多いが、概ね高い値を示している。特に生徒会活動の数値が高く生徒の力による生徒のための学校づくりができおり、自分たちの手でよりよい学校にしようという意識が高まっている。今後も生徒を真ん中に据えた指導を続けていきたい。

教育課程	授業の工夫・改善	B	<p>① ICTの積極的な活用や少人数指導を展開することなどにより、一人ひとりに寄り添う時間を確保するとともに、話し方・聞き方の工夫により発言しやすい安心して学べる環境をつくる。</p> <p>②学力向上委員会の定期的な開催や授業公開週間の実施などにより、生徒が主体的・協働的に学べるよう、授業の工夫改善に努める。</p> <p>【生徒アンケートより】 「先生はわかりやすいように授業を工夫している」 R4：93%→R5:87%</p> <p>【保護者アンケートより】 「生徒の学力向上に向けた授業の工夫や個に応じた指導を行っている」 R4：88%→R5:79%</p> <p>※ICTの有効活用やペアトーク等、どの教科でも定着して成果をあげている一方学力の二極化が進み学習につまずきを感じている生徒も少なからずいる。そういった生徒の困り感を解消できるようきめ細やかな指導をするとともにさらに授業の工夫改善に努めていきたい。(研究授業を定期的に設定し、少人数の教員グループでお互いの授業を評価する機会を設けることができた。)</p>															
	学びに向かう力の育成	B	<p>①ICTの有効活用や対話を重視した学び合い、また見通しを持たせた授業展開等により、意欲的に学習に取り組む生徒の育成を図る。</p> <p>②礎チャレンジ、がんばりタイム、学習タイムの継続的な実施、また読書活動の充実により基礎学力及び読解力の向上を図るとともに、目標を持って学習に取り組む姿勢を養う。</p> <p>③家庭との連携、個別の学習支援等により、自学できる生徒の育成を図り、平日の家庭学習が1時間以内の生徒の減少を目指す。</p> <p>【生徒アンケートより】</p> <table border="0"> <tr> <td>「意欲的に授業に取り組んでいる」</td> <td>R4:93%→R5:91%</td> </tr> <tr> <td>「朝読書や朝学習に積極的に取り組んでいる」</td> <td>R4:96%→R5:95%</td> </tr> <tr> <td>「学習や生活について気軽に相談できる」</td> <td>R4:85%→R5:76%</td> </tr> <tr> <td>「家庭で自分で計画を立てて勉強している」</td> <td>R4:70%→R5:67% (いいえ R4：12%→R5：12%)</td> </tr> <tr> <td>「目標をもって家庭学習や自主ノートに取り組んでいる」</td> <td>R4：71%→R5:71%</td> </tr> <tr> <td>「家庭学習の時間(塾含む)」3時間以上</td> <td>R4：7%→R5：7%</td> </tr> <tr> <td>1時間～3時間</td> <td>R4：65%→R5:66%</td> </tr> <tr> <td>1時間以下</td> <td>R4：27%→R5:25%</td> </tr> </table> <p>【保護者アンケートより】 「お子さんは意欲的に家庭学習に取り組んでいる」 R4:49%→R5:63%</p> <p>※学校の授業では、多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。今年度も家庭学習には課題が見られ、1時間以内の生徒を減少させることができなかった。目標をもって家庭学習に取り組んでいる生徒の割合は増加していることから生徒の二極化が見られ、個別の支援や家庭との連携を見直し、さらにICTを活用した学習支援をしていきたい。</p>	「意欲的に授業に取り組んでいる」	R4:93%→R5:91%	「朝読書や朝学習に積極的に取り組んでいる」	R4:96%→R5:95%	「学習や生活について気軽に相談できる」	R4:85%→R5:76%	「家庭で自分で計画を立てて勉強している」	R4:70%→R5:67% (いいえ R4：12%→R5：12%)	「目標をもって家庭学習や自主ノートに取り組んでいる」	R4：71%→R5:71%	「家庭学習の時間(塾含む)」3時間以上	R4：7%→R5：7%	1時間～3時間	R4：65%→R5:66%	1時間以下
「意欲的に授業に取り組んでいる」	R4:93%→R5:91%																	
「朝読書や朝学習に積極的に取り組んでいる」	R4:96%→R5:95%																	
「学習や生活について気軽に相談できる」	R4:85%→R5:76%																	
「家庭で自分で計画を立てて勉強している」	R4:70%→R5:67% (いいえ R4：12%→R5：12%)																	
「目標をもって家庭学習や自主ノートに取り組んでいる」	R4：71%→R5:71%																	
「家庭学習の時間(塾含む)」3時間以上	R4：7%→R5：7%																	
1時間～3時間	R4：65%→R5:66%																	
1時間以下	R4：27%→R5:25%																	
課題教育	人権教育	A	<p>① あらゆる活動を通して多様な価値感(違い)を認め、新たな課題に対応した人権教育の推進をすることで、学校での信頼づくりや居場所づくりをすすめ、いじめの早期発見や不登校の未然防止を目指す。</p> <p>【生徒アンケートより】</p> <table border="0"> <tr> <td>「いじめなどでいやな思いをしたことがない」</td> <td>R4:86%→R5:93%</td> </tr> <tr> <td>「クラスは楽しく居心地がよい」</td> <td>R4:91%→R5:93%</td> </tr> </table> <p>※新たな課題に対応した人権教育の推進事業の市教委の指定(R4～R5)を受けていることもあり、生徒数の少ない1小1中の固定化された人間関係の中で、自分たちと違うものに対する抵抗感を持つ生徒が少なからず存在している。授業として学んだときはしっかり考えられているのに、身近な人の人権となると知識と行動が乖離してしまうといった傾向がある。また、不登校生徒は昨年度と同程度であるが、時差登校や別室登校など、個に応じた対応を行っている。そのため、多様な登校やオンライン授業の機会が確保できている。校内人権弁論大会や平和講演会、さらに転出入生への対応などさまざまな機会を通して人権教育を進めることができた。引き続き相談しやすい居心地のよい環境づくりを進めていきたい。</p>	「いじめなどでいやな思いをしたことがない」	R4:86%→R5:93%	「クラスは楽しく居心地がよい」	R4:91%→R5:93%											
	「いじめなどでいやな思いをしたことがない」	R4:86%→R5:93%																
「クラスは楽しく居心地がよい」	R4:91%→R5:93%																	
情報教育	情報モラル	B	<p>①PTAと連携した情報モラル講演会の実施や生徒会によるスマホルール作りなどにより、スマホ(ゲーム)に依存する生徒や個人情報の管理が未熟な生徒を減らし、SNSによるいじめの未然防止に努める。</p> <p>【生徒アンケートより】</p> <table border="0"> <tr> <td>「スマホやPCを1日あたりどれくらい使うのか」1時間以下・しない</td> <td>R4：32%→R5：34%</td> </tr> <tr> <td>1時間～3時間</td> <td>R4：58%→R5：48%</td> </tr> <tr> <td>3時間以上</td> <td>R4：20%→R5：17%</td> </tr> </table> <p>※PTA主催の情報モラル講演会を今年も実施し普段から絶えずSNSの利用について注意喚起を行っている。今年も1日3時間以上SNS等を利用している現状を改善できなかった。依然、SNSを介したトラブルも起こっている。引き続き家庭への啓発を継続しながら、地道に生徒に向き合っていくなければならない。</p>	「スマホやPCを1日あたりどれくらい使うのか」1時間以下・しない	R4：32%→R5：34%	1時間～3時間	R4：58%→R5：48%	3時間以上	R4：20%→R5：17%									
「スマホやPCを1日あたりどれくらい使うのか」1時間以下・しない	R4：32%→R5：34%																	
1時間～3時間	R4：58%→R5：48%																	
3時間以上	R4：20%→R5：17%																	

3 学校関係者評価

- ・地域のお祭りやイベント等で生徒たちのボランティアを見ることはとても良い機会だと思うのでこれからもよろしくお願いします。
- ・ICTの活用もできているが授業の工夫によって「学ぶ楽しさ」を感じてもらえば家庭学習も自ずとできると思う。先生方は大変だが頑張してほしい。
- ・コロナ禍があけて中学生が地域に出て頑張っているのがよく目につくようになった。またあいさつもよくしてくれますので今後とも地域との協力をお願いしたい。
- ・先生方が授業内容を色々考えてわかりやすく教えられているのがよいと思います。
- ・スマホも持つ生徒がほとんどなので危険なことまた家庭学習にも影響していると思われるので今後とも取り扱いについて指導をお願いします。
- ・学校行事や地域行事などいろいろな形で小中高の連携の機会を多く持たれていることは良いことなどで、これからも続けてほしいと思います。町内に小中高すべてがあることを青垣地域の強みとして連携・交流を深めてほしいと思います。
- ・質問項目は異なるが、小学校での家庭学習は良い結果がでている反面、中学生になると「家庭学習の時間が1時間以下」の生徒が半数弱いることが残念に感じます。
- ・学校の評価は適正であると思います。
- ・アンケート結果が明記されておりわかりやすい学校評価でした。
- ・保護者と生徒の意識のへだたりが同えるところもありますが総合的に青垣中学生は素直でよく頑張っていると感じています。
- ・小・中と友人関係に変化がないので次のステップ（進路）に向けての学習意欲が弱いように感じます。
- ・挨拶ができ地域に貢献して頑張っているので今後の学習面のレベルアップにも期待します。
- ・小学校からの意識づけが必要だと思うので更なる連携・交流を望みます。
- ・意欲的に授業に臨む生徒が多くなってきたなか、家庭学習の充実など自ら学びに向かう力の育成を図るため、タブレットを有効利用した家庭学習や学習の個別支援、さらにPTAと連携した情報モラル教育等と一体的に充実させる。
- ・スマホのルール作り、そしてそれを守る事は大人でも難しいことだが、自制できる使い方が出来るよう注意すること等悪いことに巻き込まれないように情報を発信することは今後とも大事になると思う。保護者への発信も行い情報共有もしていただきたい。
- ・教師と生徒の関係が良い状態にあるので今後とも続けてほしい。
- ・学習指導に関して、生徒アンケート・保護者アンケートの数値が少し下がっているのが残念に思う。先生方は良くされているので来年度は現状維持以上になることを願っています。

4 次年度の改善の方向性

【学校経営】学校運営協議会との連携をさらに深め、学校教育に対する協力者の拡大に努めるとともに、園小中高一貫教育の推進を加速させ18年間を見据えてカリキュラムの編成を拡大させる。

【生活指導】兵庫型学習システム（少人数）（35人学級）での対応などで子どもたちの生活に落ち着きが出てきた。今後も中学校3年生については少人数での対応を図っていくとともに、自治活動との連携を強化し、「自ら」の部分に焦点を当てた指導を推進していく。

【学習指導】礎チャレンジの取り組みを継続するとともに、学習の二極化が進む中、ICTの活用による個別に最適化した学習の実現と家庭学習の充実を目指した研修を進めていく。

【人権教育】多様な価値観を認め、あらゆる活動を通して信頼づくりや居場所づくりに努め、新たな課題に対応した人権教育を推進していく。

令和6年3月6日

学校名 丹波市立青垣中学校
校長名 井本 健吾